

北陸研究データ基盤コンソーシアム活動紹介

笠原 穎也

金沢大学 学術メディア創成センター



2025.12.1

研究データ管理スタートアップ支援事業への参画（2023年度～）

研究データ管理スタートアップ支援事業

研究者の行動変容を促す「研究 DX」を推進するため、研究データポリシー策定、研究データマネジメント体制整備といった、研究データ管理のノウハウを中核機関群のもとで構築し、各地域において核となる拠点大学を中心に、各大学・研究機関等の組織に伝搬させていく取り組みです。

文部科学省委託事業「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」

中核機関群

- 司令塔機能を果たし、相談・連絡やデータの解析等を行う。



- 迅速な相談、密な連携
- 現状課題の共有

各地域における核となる拠点大学群

- 核となる拠点大学を全国に作り支援。各拠点大学が地域の多様な大学を支援。
- 潜在需要が想定される大学も含め、コミュニティを広げていく。

想定されるコミュニティ内での取り組み

- 課題抽出
 - データマネジメント体制の構築
 - データポリシーの構築
- スキル・ノウハウの蓄積
- 他大学の情報共有



実施状況

今年度

- 本事業は、ルール・ガイドライン整備チーム（リーダー：名古屋大学）が統括する
- 地域ごとに支援機関と複数の被支援機関による支援の仕組み（コンソーシアム体）を設ける
- 支援機関は、令和5年度は名古屋大学（東海地域）、金沢大学（北陸地域）とする

名古屋大学：

「研究データエコシステム東海コンソーシアム」を発足 <正会員8機関、準会員4機関が加盟済み>
<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ia/information/event/2023-07-21-consortium.html>



金沢大学：

学内に研究データエコシステム整備WGを設置し、データポリシーの見直しとデータ利活用のためのガイドライン等の整備を実施

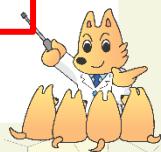
来年度以降

- 対象地域の拡大を目指す



AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業
https://www.nii.ac.jp/creded/ni_ac_jp_creed.html

研究データエコシステム



https://www.nii.ac.jp/creded/poster04_NII-RDES.pdf

北陸ファシリティ・技術人材ネットワーク ファシリティデータベース



(金沢大学 研究基盤統括本部)

「先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）」（2020年度～）

2025/12/1

北陸コアファシリティ
連携で築いたネット
ワークを発展させ、
北陸地区の研究機関の
研究データ管理体制を
構築

北陸研究データ基盤コンソーシアム (2024.7~)

北陸研究データ基盤
コンソーシアム

利用者別
コンソーシアム会員
コンソーシアム入会希望
イベント参加希望

目的別
北陸研究データ基盤コンソーシアムとは
これまでのイベント
これからのイベント
コンソーシアム会員機関
会員募集中
資料一覧
会員向けページ
(会員限定)

北陸研究データ基盤
コンソーシアムとは

これまでのイベント
これからのイベント

コンソーシアム会員機関

会員募集中

資料一覧

会員向けページ
(会員限定)

参考サイト
金沢大学学術データ管理
基盤システムARCADE2
内閣府科学技術・イノベーション
事務局「研究DX」ホームページ
AI等の活用を推進する研究データ
エコシステム構築事業
全国の地域コンソーシアム
(研究データ管理スタートアップ
支援事業)
系統的に「研究データ管理」を勉強し
たい方へ
令和7年度科研費
研究データの管理・利活用について
研究データエコシステム
東海コンソーシアム
北陸ファシリティ・技術人材
ネットワーク
資料一覧



<https://dri.w3.kanazawa-u.ac.jp/consortium/>

加入資格

**北陸地区か否かを問わず、国公私立大学、
高等専門学校、公的研究機関その他の
学術研究機関、又はこれらの機関の部署**

加入機関

15機関(うち北陸地区9機関)

活動内容

- セミナーなどを通じた情報共有・意見交換
(**年2回の頻度**で実施)
- ルール・ガイドライン整備に必要な**資料提供**、
加入機関向け個別サポート etc.

北陸地区拠点校として行うべきことは何か？

- ▶ 研究データポリシーを制定する(2025年までに策定率100%)
 - ▶ 外部向けにデータポリシーを公開
本学は実施済(2022.3制定, 国内6番目)
→ より具体的な指針・方法へとブレークダウンした内容に改訂
 - ▶ ポリシーに実効性を持たせるための具体的な実施手順(DMP作成、データ公開手順 etc.)を整備(実施細則・ガイドラインと、関連文書群の制定)
- ▶ 各研究者が研究テーマ毎にDMPを作成し、それを管理する手順を支援 (DMP:データマネジメントプラン)
(特にAMED、JST、科研費などの外部資金は必須)
 - ▶ DMP管理やデータ公開のためのワークフローを整備(研究者・事務担当者の負荷軽減)
- ▶ 研究データ(メタデータ含)を公開し、リポジトリなどで検索可能とする
 - ▶ データ公開・提供等の基準・手順を規定

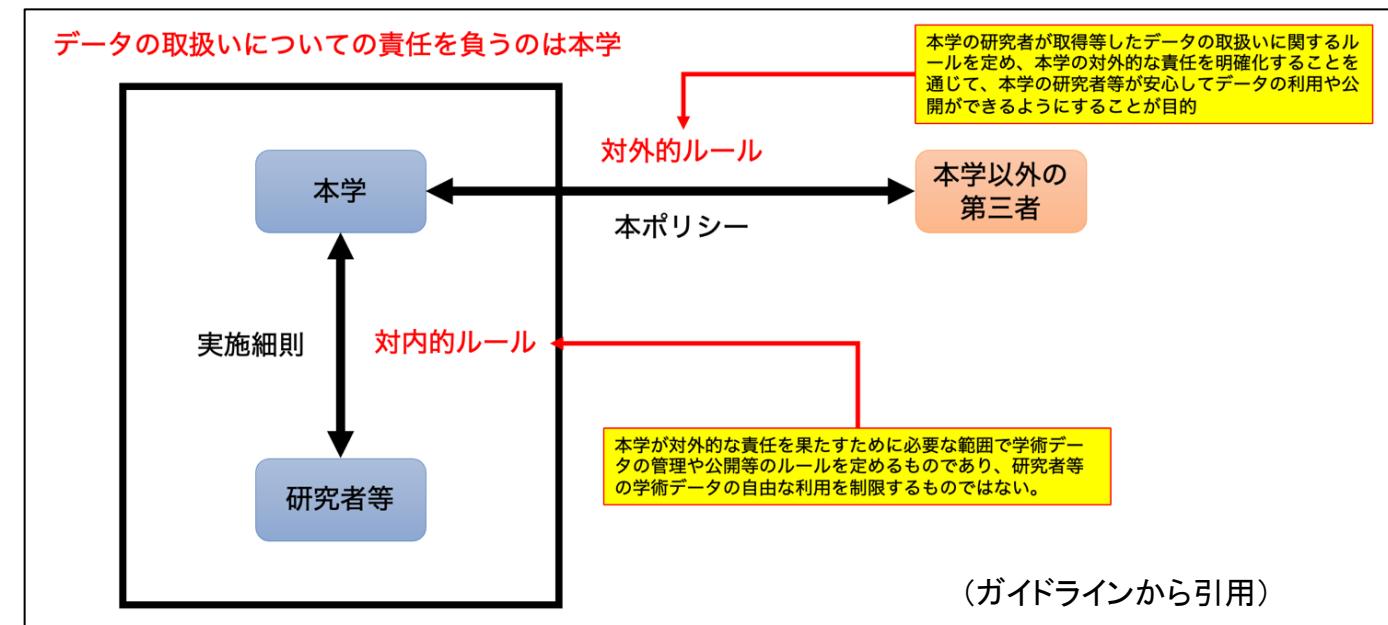
コンソーシアムとしての最終目標:

「金沢大学モデル」を構築し、北陸地区はじめ他機関に広く普及を推進する！

データポリシー改訂・周辺文書整備の骨子

知財分野に詳しい弁護士の指導の下で文書整備

- ▶ 「金沢大学学術データポリシー」 (2024.7.5 改訂)
 - ▶ 国立情報学研究所(NII)版ポリシーをベースに、大幅改訂
 - ▶ 各条項の主語は「大学」(ポリシーは大学が提示するもの)とし、本学の対外的な責任を明確化
 - ▶ 「内部的な手続」は記載しない
- ▶ 「実施細則」(2025.3制定)
 - ▶ DMP作成の対象となるデータの定義
 - ▶ データ管理・公開等のルール
 - ▶ データ公開・提供時の手続き
 - ▶ 研究者の移籍・離籍時の手続き etc.
- ▶ 「ガイドライン」
 - ▶ データ管理指針の意図を解説



笠原ほか、https://doi.org/10.18919/jkg.75.9_465
情報の科学と技術, 75(9), pp.465-470, 2025

データポリシー改訂・周辺文書整備の骨子

知財分野に詳しい弁護士の指導の下で文書整備

▶ 「金沢大学学術データポリシー」(2024.7.5 改訂)

文書制定指針

確化

- 「大学が研究者を守るためにルール」であることを学内構成員に周知する
- 医療情報・個人情報を含むデータにも対応可能な規則・手順
→ これにあてはまらないデータは拘束しない
- 「法律的にはデータの所有権が存在しない」ため、契約等に基づくデータ利用条件(第三者提供、利用目的etc.)を規定できる仕組み作り
- 研究者の活動を阻害しない、教員・職員双方の業務をいたずらに増やさない
(スマートスタートから始める)

取り扱いに関するル
明確化することを
データの利用や公

用)

「資料の骨子と改訂例」, 75(7), pp.465-470, 2025

OSSを活用した 金沢大学 研究データマネジメント体制図

福井大・金沢医科大にも導入予定
→多くの大学に導入可能な汎用性を追求

研究担当理事

研究基盤統括本部 (本部長: 学長補佐 (研究力強化担当))

2025
新設

研究データ マネジメント 統括部門

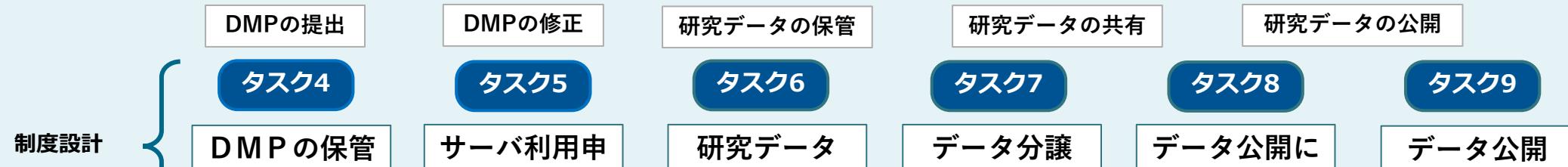
研究データマネジメント体制の設計及び運用・管理

- タスク1 金沢大学 研究データマネジメントポリシーの運用・改訂等
- タスク2 RDMに関する問い合わせ対応/相談窓口
- タスク3 オープンサイエンスシステムの管理/運用

三位一体
実効的ルール
GakuNIN RDM
ワンストップシステム(OSS)

オープンサイエンスシステム (2025/4より運用中) (研究データマネジメントプラン (DMP) の適切な 管理 → 利活用 → 公開)

(研究開始) → (研究中) → (研究終了)



連携

連携

連携

連携

オープンサイエンスシステム (OSS) ガイドページの整備



金沢大学 オープンサイエンスシステムガイド

メニュー

OSSを使う場面

使い方（研究者用）

使い方（担当職員用）

データポリシー

オープンアクセス

退職・転職・転入時

FAQ

学術データ管理基盤システム
ARCADE2

金沢大学オープンサイエンスシステム (OSS) を使
う場面
クリックすると説明にジャンプします。



OSSを使う場面

OSS TOP Page (English ver.)

非制限公開・制限公開・制限共有・
提供とは

発表論文と研究予算を紐づけたい場
合

内閣府－オープンサイエンス:学術論
文等のオープンアクセス化の推進公的
資金による研究データの管理・利活用
など

北陸研究データ基盤コンソーシアム

系統的に「研究データ管理」を勉強
したい方へ

- **ポリシーの説明のみならず、OSSに
従えば、ルールを守れるように設計**
- **メールによる問い合わせ窓口も設定**
- **FAQの充実させると共に、隨時、
OSSガイドページを更新**
- **英語版も整備**

AXIES2025 12/3 14:00～
「研究データマネジメントセッション」
長井ほか、で詳細発表あります。

2025/12/1

御清聴ありがとうございました。

第6回 北陸地区学術データ基盤セミナー 2026/2/18 (予定)